

STAGE+を楽しむ(232)(HP 収載)  
—トリフォノフのバルセロナリサイタル—

1. 始めに

前報(231)に引き続き、STAGE+のトリフォノフのバルセロナリサイタルの演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAGE+のトリフォノフのバルセロナリサイタルの演奏を選びました。

ダニール・トリフォノフがバルセロナでリサイタルを開催

カタルーニャ音楽堂 (2025 年)

収録日: 2025 年 2 月 14 日

間違いなく現在、偉大なピアニストのひとりとして名前がすぐに挙がってくる存在であるダニール・トリフォノフ。常に自らの技術と音楽性を磨き上げながら多彩なレパートリーに挑み、時には作曲や編曲もこなし、ピアニストという枠すら超え、ひとりの「音楽家」としての存在感を強めています。そんな彼の新しいライブはショパンにバーバー、そしてチャイコフスキーという独創的なプログラムです。いずれも彼の技術と表現力を存分に堪能できますが、とくにプレトニョフ編曲の《眠りの森の美女》は必見です。

ソリスト:

ダニール・トリフォノフ (ピアノ)

曲目:

ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー ピアノ・ソナタ嬰ハ短調 op. 80 (遺作)

フレデリック・ショパン ワルツ第 15 番ホ長調 遺作

フレデリック・ショパン ワルツ第 12 番ヘ短調 op. 70-2

フレデリック・ショパン ワルツ第 8 番変イ長調 op. 64-3

フレデリック・ショパン ワルツ第 6 番変ニ長調 op. 64-1 《子犬のワルツ》

フレデリック・ショパン ワルツ第 3 番イ短調 op. 34-2

フレデリック・ショパン ワルツ第 14 番ホ短調 遺作

ミュエル・バーバー ピアノ・ソナタ変ホ短調 op. 26

ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー 演奏会用組曲《眠れる森の美女》

(ミハイル・プレトニョフによる編曲版)



### 3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結しています。チャイコフスキーのピアノ・ソナタ嬰ハ短調は、初めて聴くもので、ロマンチズムを漂わせます。

ショパンのワルツ 6 曲は、お馴染みのものが多く、トリフォノフが詩情豊かに表現していきます。

バーバーのピアノ・ソナタ変ホ短調は、初めて聴くもので、現代曲風でトリフォノフが鋭角的なピアノリズムを披露します。

チャイコフスキーの演奏会用組曲《眠れる森の美女》は、初めて聴くもので、バレエ音楽を組曲に編曲したもののようで、バレエらしい優雅さやドラマティックな展開がピアノで表現されています。



### 4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G や PC の仮

想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結した結果、トリフォノフの変幻自在なピアノリズムを表現しています。

以上